

海底地形測量について

平成29年10月

九州農政局
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県

1. 海底地形測量の目的

有明海における二枚貝類等の再生に向けた4県協調の取組の一環として、

- ① 漁場環境改善のための現地実証や事業等をより効果的に実施するための漁場造成適地の検討材料としての活用
- ② 二枚貝類等の浮遊幼生の移動経路を推定するシミュレーションモデル構築の基礎データとしての活用等を目的として、現況の海底地形を把握するための「海底地形測量」を行うものです。

2. 海底地形測量の範囲

有明海における海底地形測量はこれまでも行われていますが、上記の観点から、国と県が測量範囲を調整し、現況の海底地形の把握を行います。

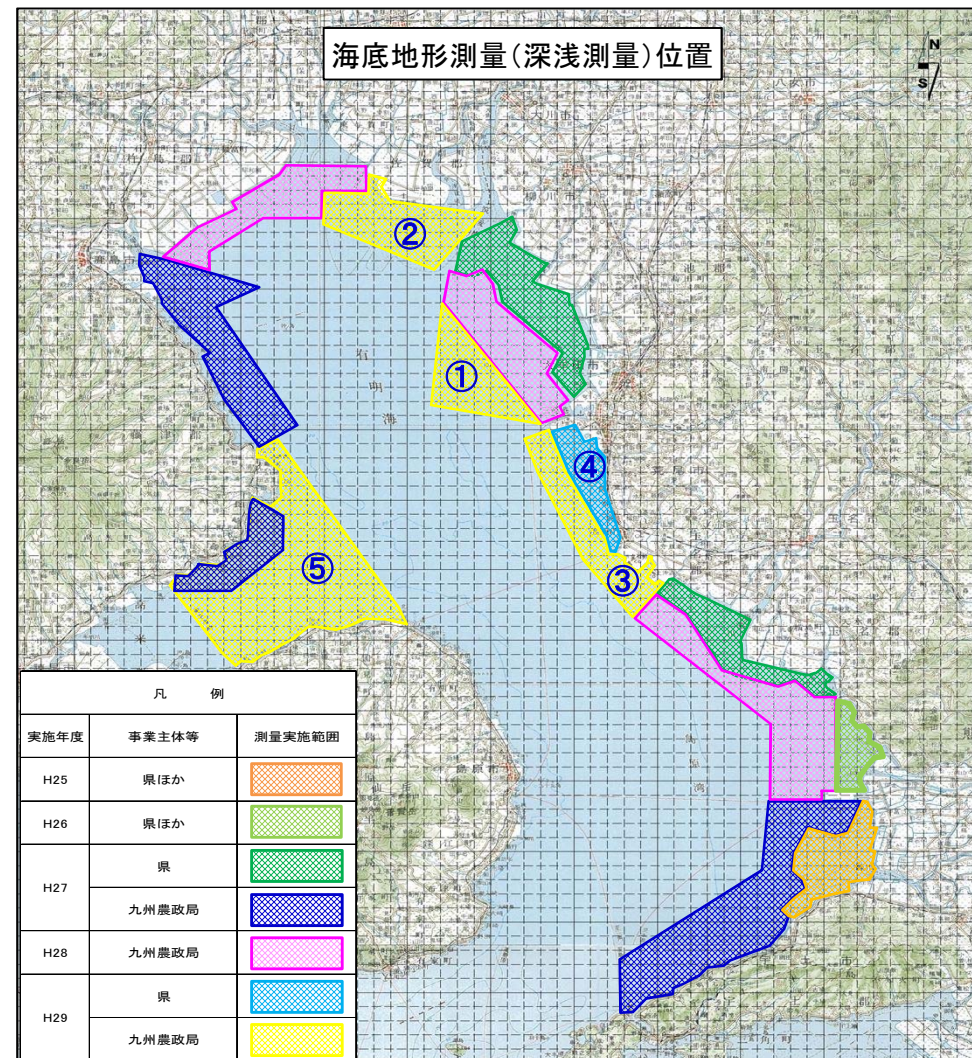
3. その他

本年度までに、有明海の浅海域全体の海底地形測量を了し、これらのデータを基に、

- ① 海底地形図の作成
- ② 4県協調データベースへの格納を行います。

3. 平成29年度の実施概要

- ①福岡県沖
測量面積 25km²
事業主体 国（九州農政局）
- ②佐賀県沖
測量面積 25km²
事業主体 国（九州農政局）
- ③熊本県沖
測量面積 25km²
事業主体 国（九州農政局）
- ④熊本県沖
測量面積 21km²
事業主体 熊本県
- ⑤諫早湾
測量面積 75km²
事業主体 国（九州農政局）



図一 1 海底地形測量位置

4. 海底地形測量データを用いた地形図

- 平成29年度までの海底地形データを用いた重ね合わせ図を作成します。
※平成29年10月時点で、前項④熊本県沖、同⑤諫早湾沖を除き作図を終了
(図-2, 図4~図10)
- また、海底地形測量データは、GIS（地理情報システム）化し、4県協調の取組の一環であるデータベース上に搭載し（資料7参照）、地形条件に応じた母貝団地の適地選定等に活用することが可能となります。（図-3）

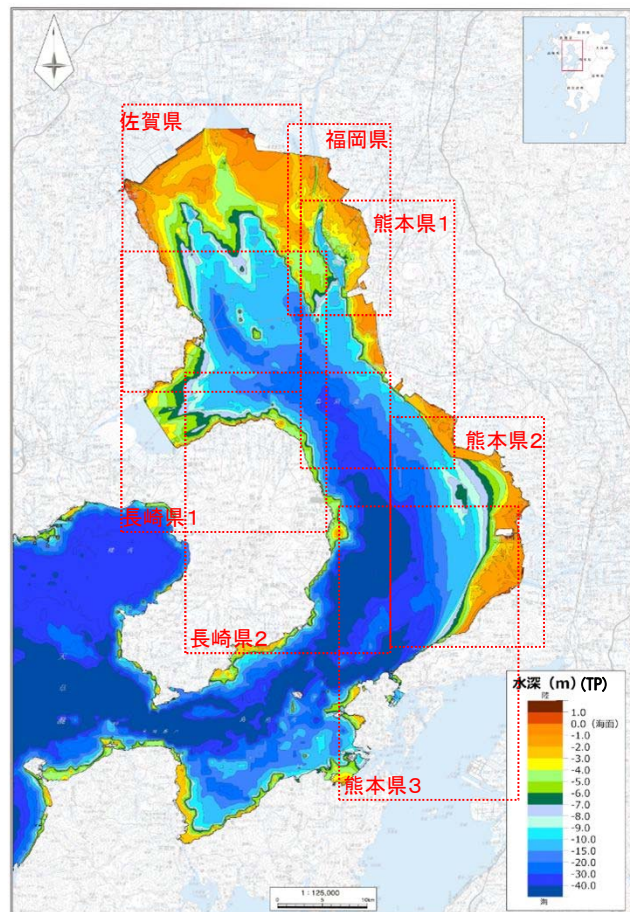


図-2 海底地形測量図

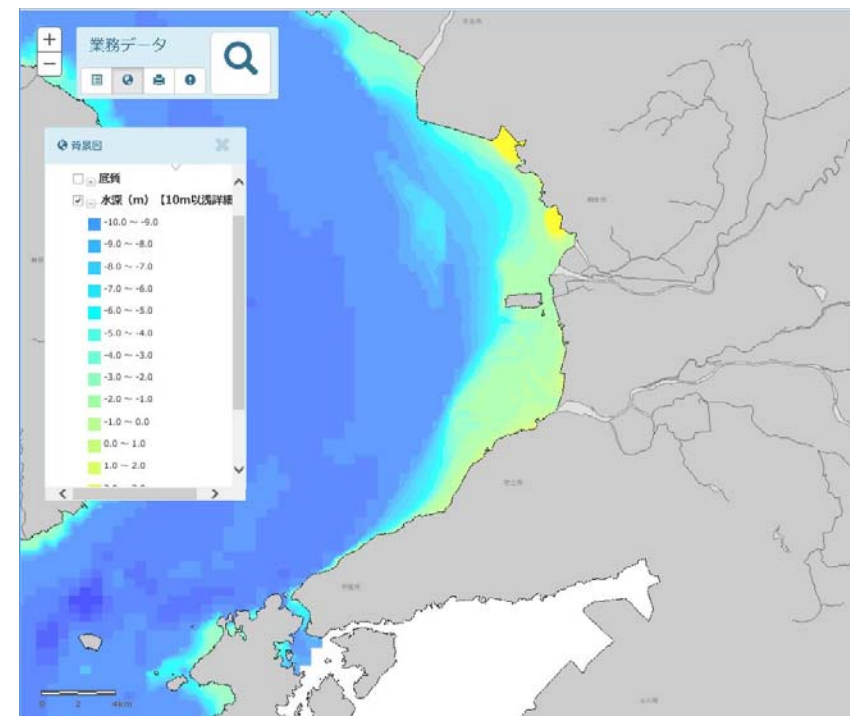
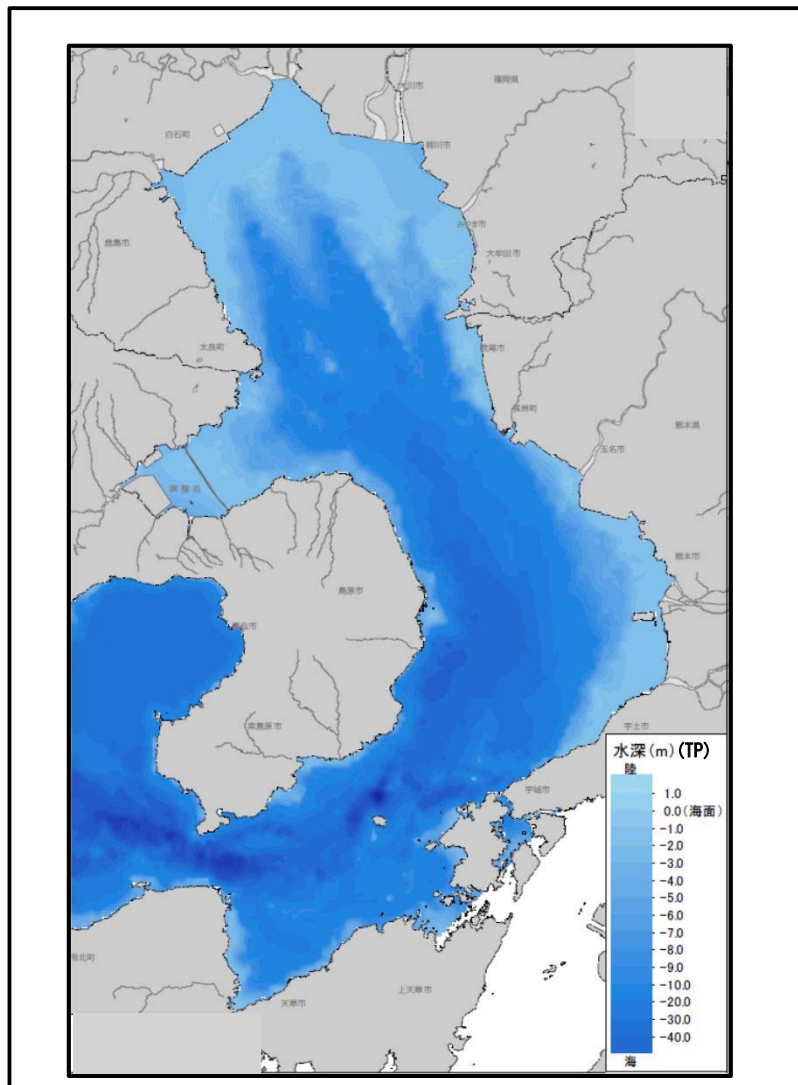


図-3 4県協調データベース画面（熊本県地先の例）

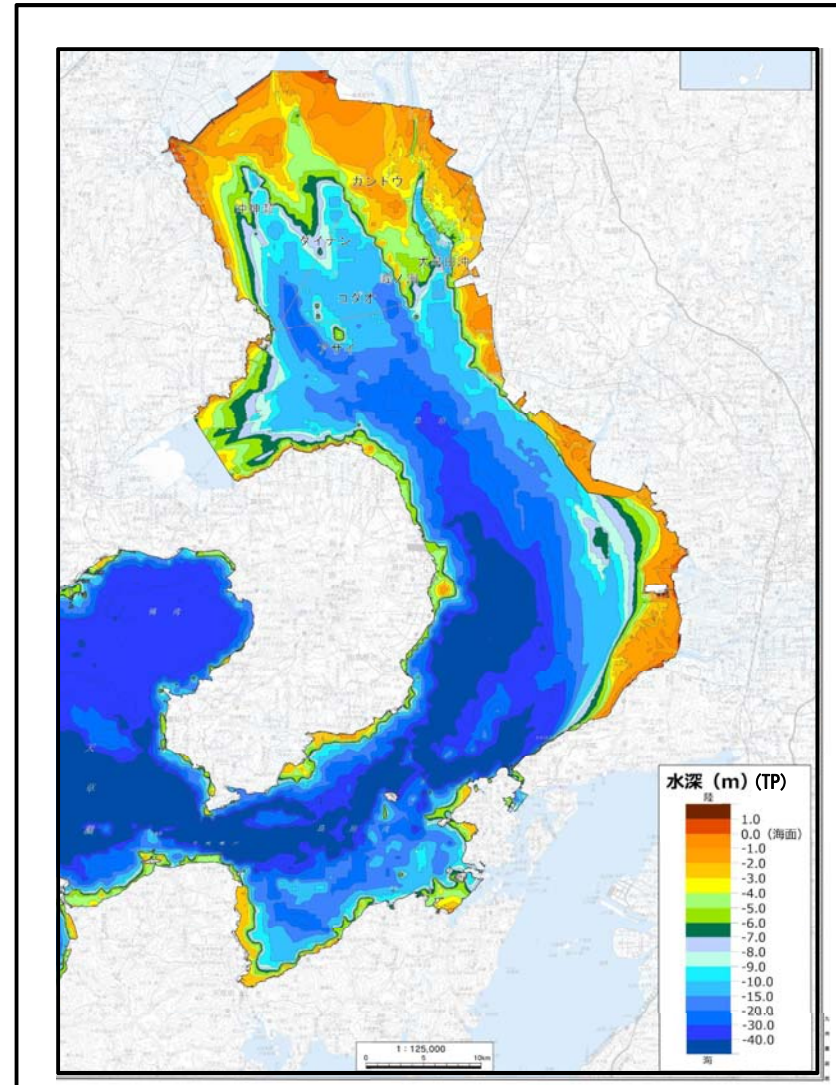
(参考) 海底地形測量の比較

- 4県協調の海底地形測量により、浅海域を中心とした海底地形の精度が大幅に向上

《従前》



《4県協調の取組による海底地形測量図》

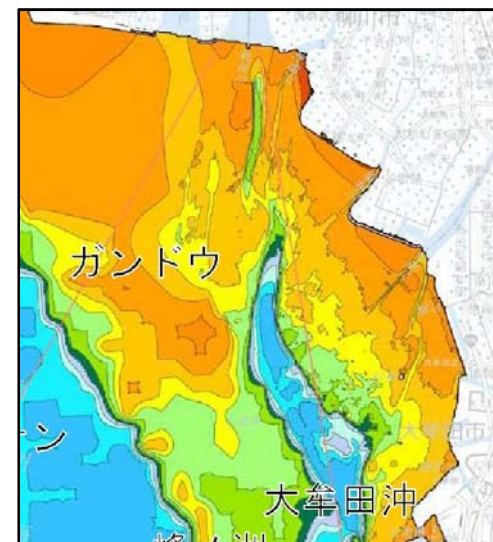
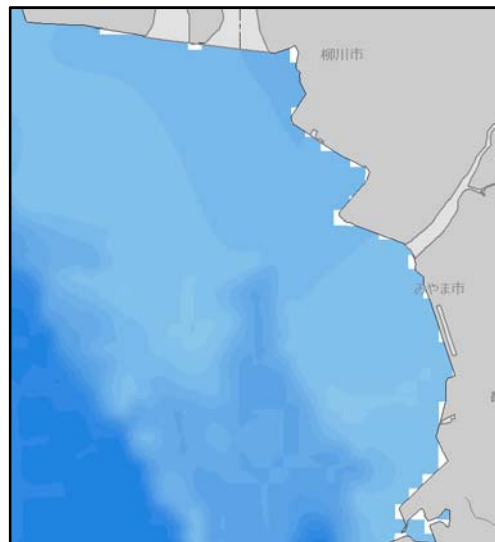


〔拡大図〕

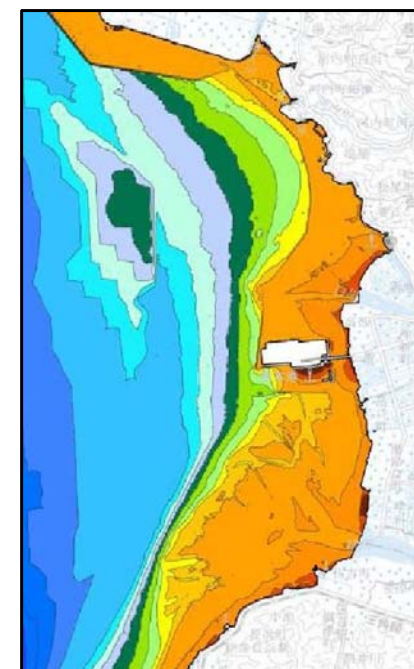
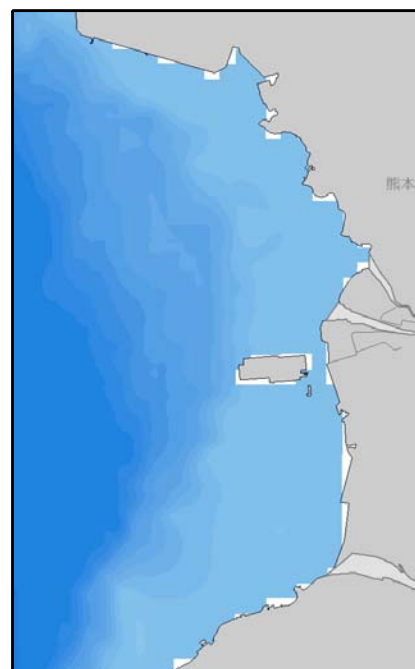
《従前》

《4県協調の取組による海底地形測量図》

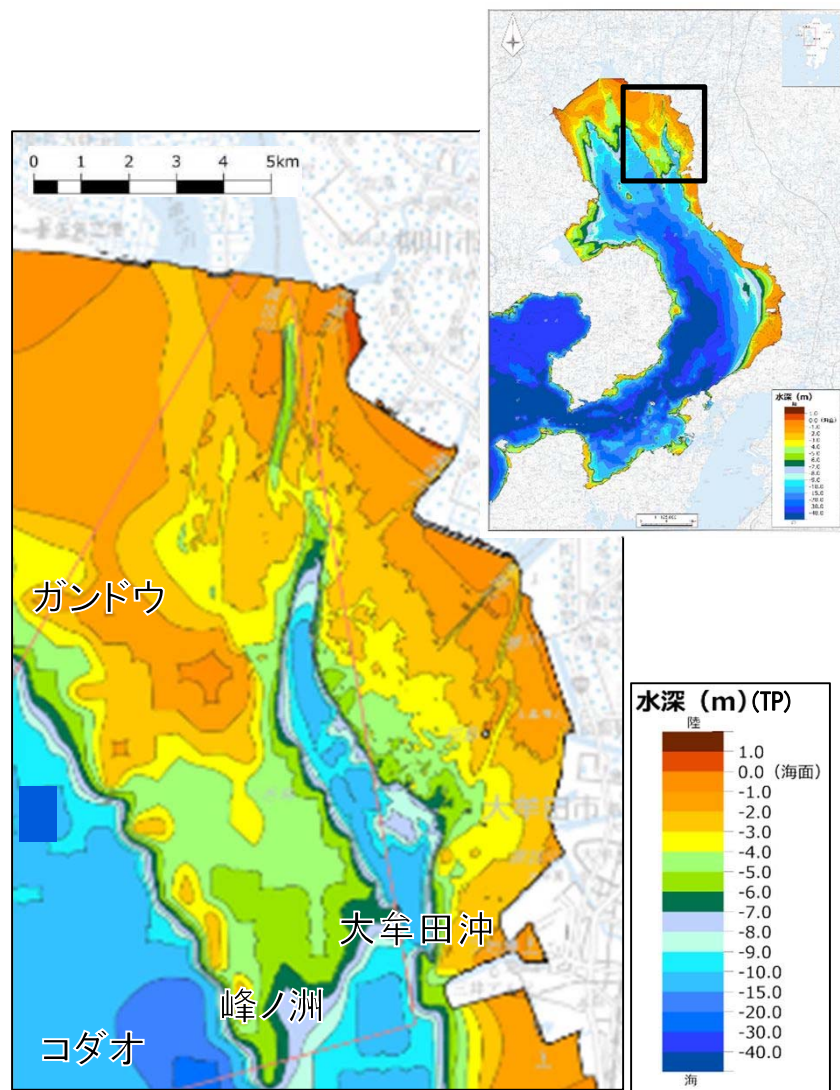
福岡県沿岸域



熊本県沿岸域

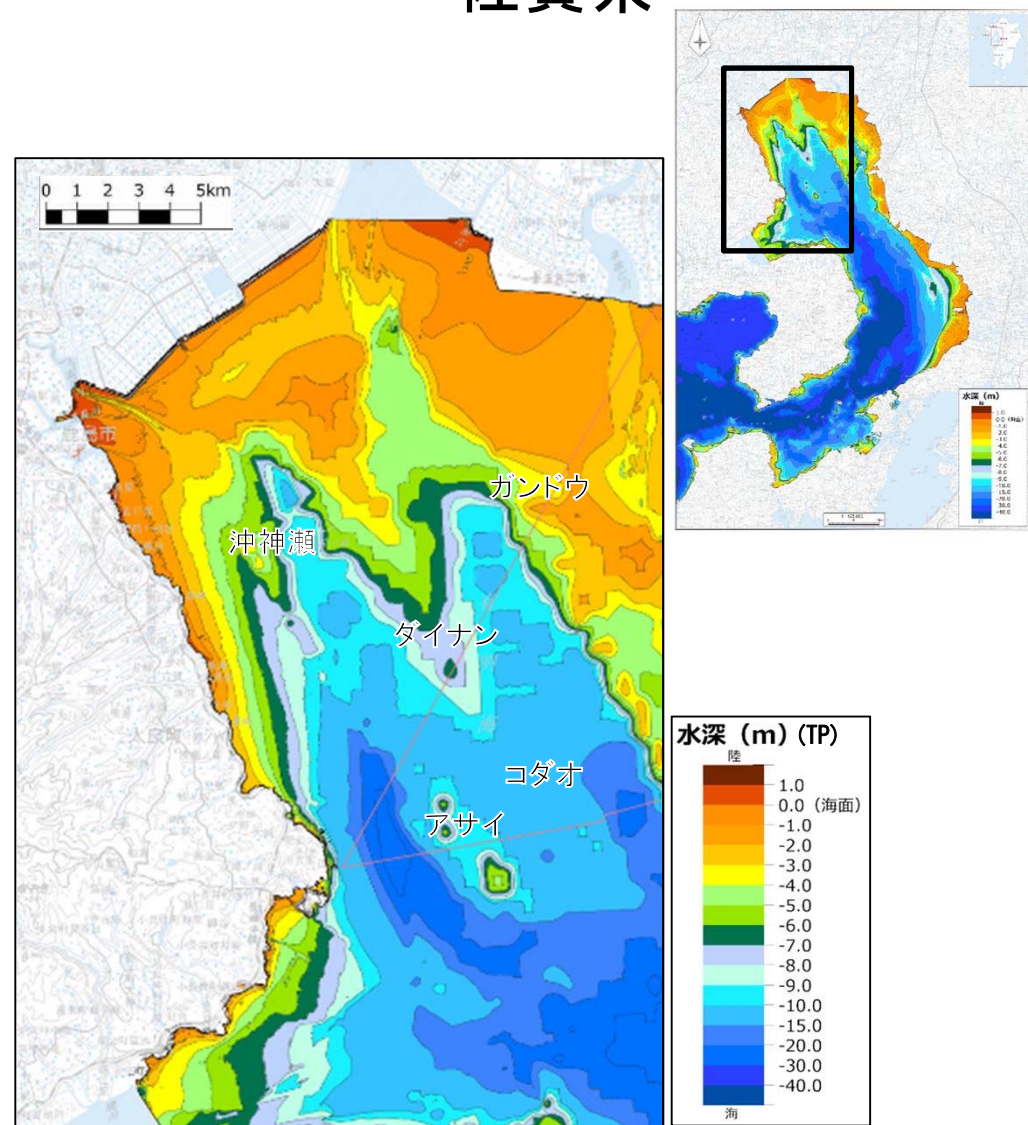


福岡県



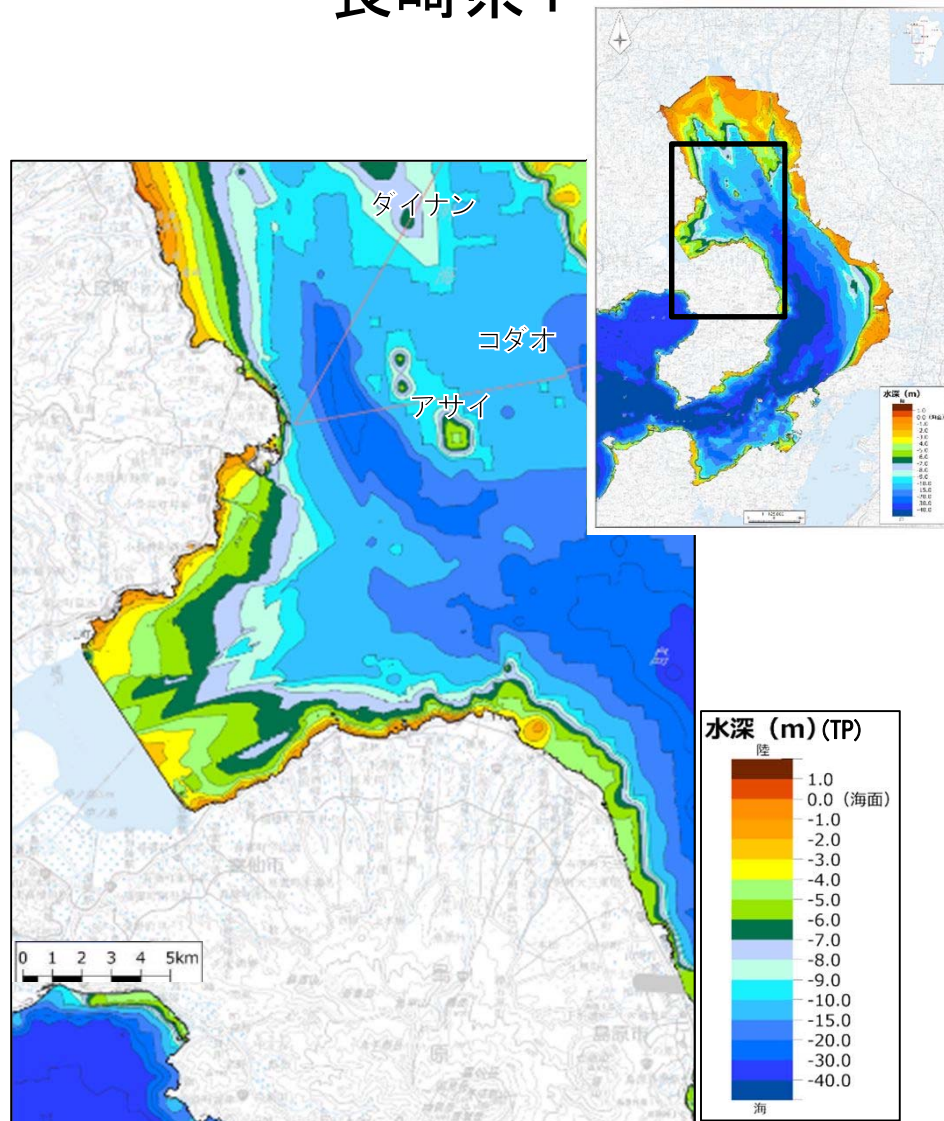
図一4 海底地形測量図（福岡県）

佐賀県



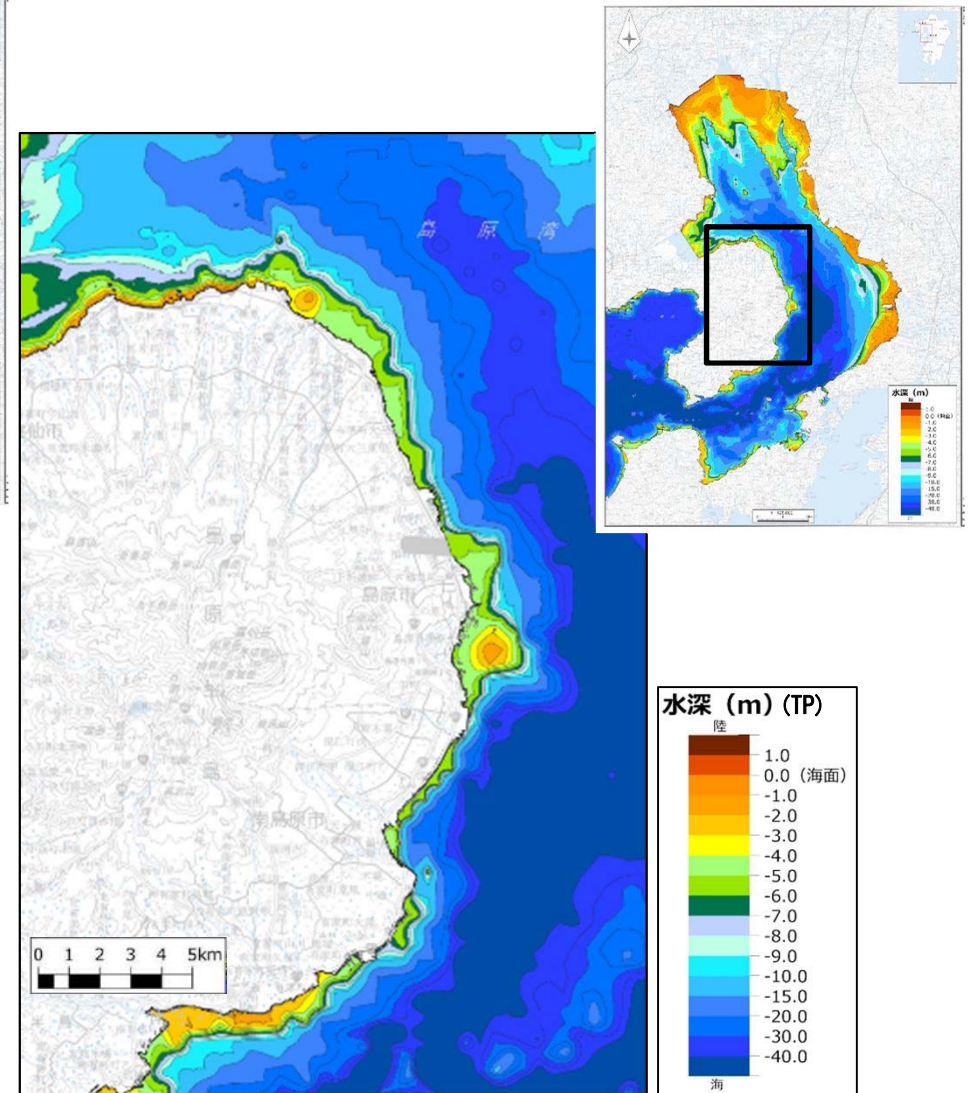
図一5 海底地形測量図（佐賀県）

長崎県1



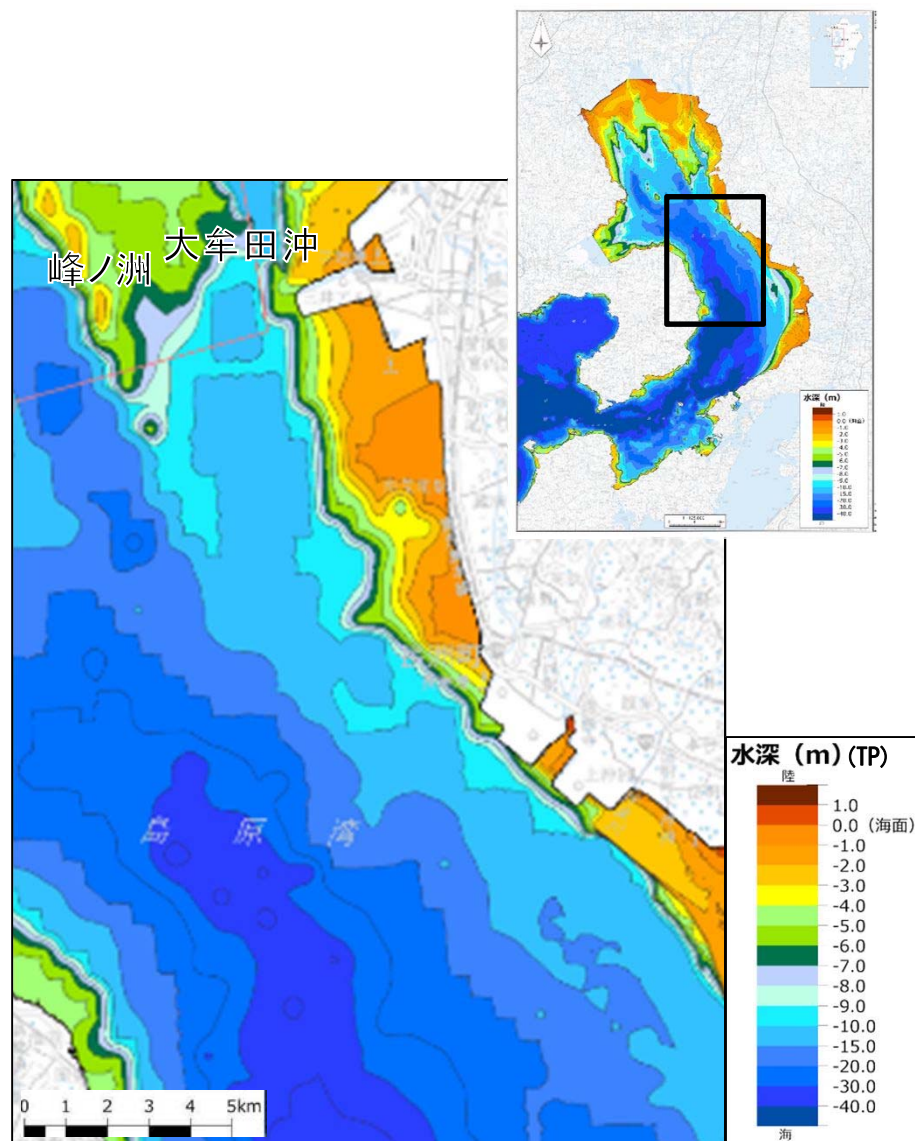
図一6 海底地形測量図（長崎県1）

長崎県2



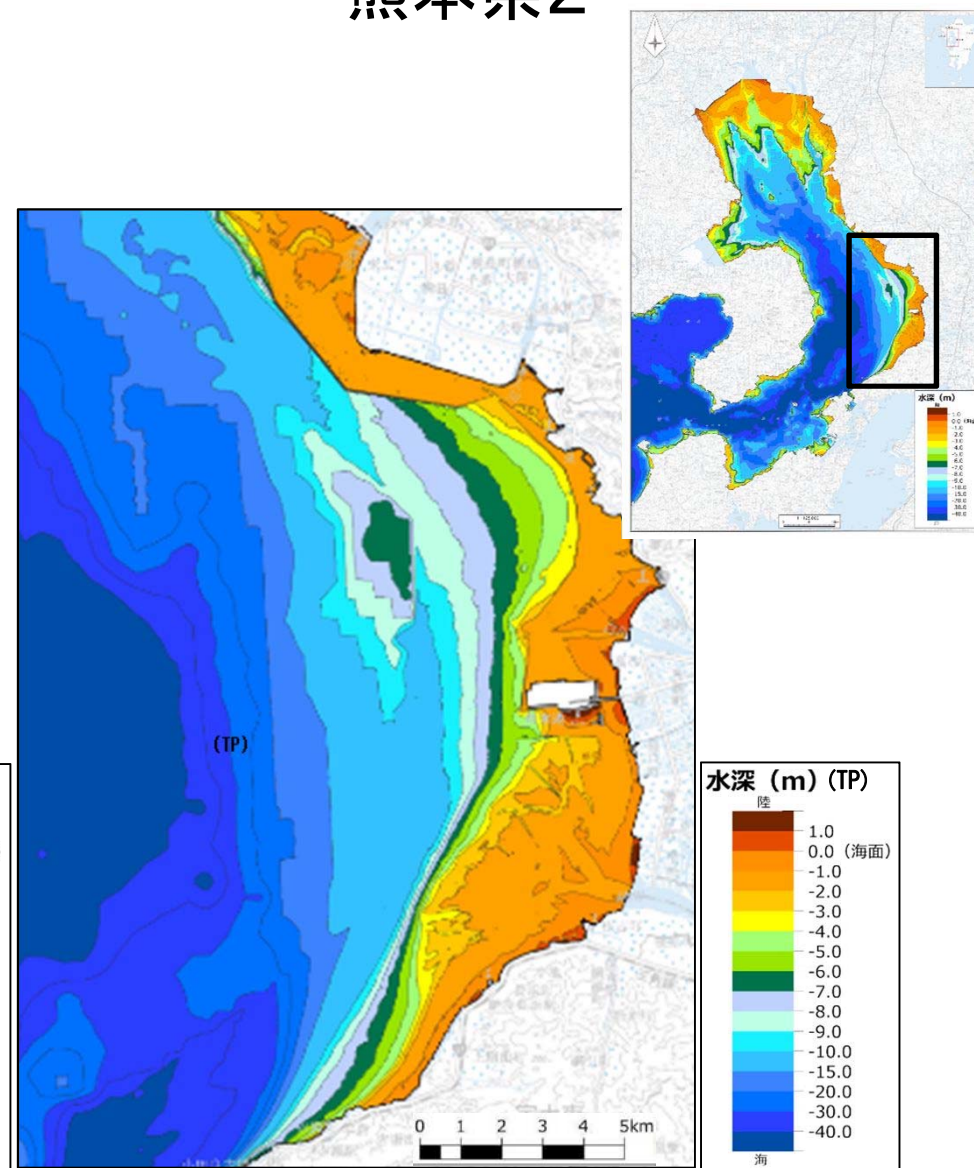
図一7 海底地形測量図（長崎県2）

熊本県1



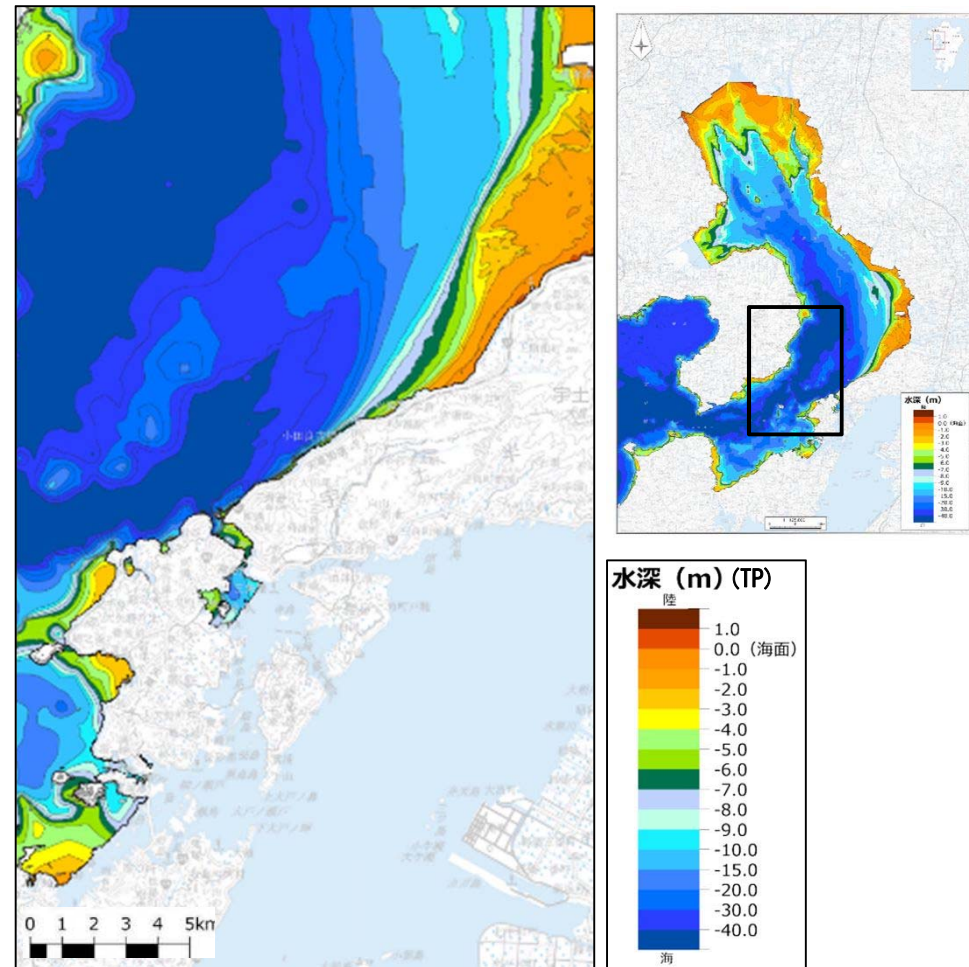
図一8 海底地形測量図（熊本県1）

熊本県2



図一9 海底地形測量図（熊本県2）

熊本県3



図一10 海底地形測量図（熊本県3）